

小笠原諸島の世界自然遺産登録から 5 年間の主な出来事と取組

1. 小笠原諸島世界自然遺産地域の概要

○登録年：平成 23 年（2011 年）6 月

○登録基準：生態系

小笠原諸島は、海洋島の生態系に特有の生物進化の様子をよく表しており、陸産貝類と維管束植物において極めて高い固有種率を示している。



カタマイマイ属の多様性
(東北大学 千葉聡 HP)

2. 世界遺産登録から 5 年間の主な出来事と取組

<外来種対策>

○兄島や弟島では、ノヤギの根絶を達成した結果、希少植物の顕著な回復がみられ、父島や母島では、ノネコの継続的な捕獲により、海鳥やアカガシラカラスバトが顕著に回復している。過去にネズミ、ノヤギの根絶が達成された聳島では、平成 20～24 年度に伊豆諸島鳥島からアホウドリのヒナを移送し、今年、初の野生繁殖個体の巣立ちが確認されている。

○小笠原諸島固有の乾性低木林の生態系が健全に残存する兄島において、平成 25 年 3 月に特定外来生物であるグリーンアノールの生息が初確認された。現在、関係機関が連携して、捕獲や分布拡大防止柵の設置等の対策を実施している。



グリーンアノール

○世界遺産の価値の重要な要素の一つである陸産貝類について、外来ネズミ類による影響が深刻化しており、重点的な駆除対策を進めている。また、父島では、侵入した外来プラナリア類により、固有陸産貝類（カタマイマイ等）が壊滅的な影響を受けており、拡散防止対策を進めている。



カタマイマイの殻

○現在、外来種対策、希少種保全対策の拠点として、父島に小笠原諸島世界遺産センター（仮称）を整備中。

<西之島の噴火>

○平成 25 年 11 月に西之島が噴火し、流れ出した溶岩流によって、島の陸域が拡大した。噴火により、生態系がリセットされたことから、新たな生物進化の舞台として、国際的にも注目されている。

<小笠原村エコツーリズム推進全体構想>

○村を中心とする協議会により、小笠原村エコツーリズム推進全体構想が策定され、平成 28 年 1 月に環境大臣によって認定。地域が一体となり、クジラやイルカ、星空といった自然観光資源を保全しつつ、地域活性化に活用していくエコツーリズムの推進が図られている。

小笠原諸島

知ってほしい
島のイマ

世界自然遺産地域登録5周年記念イベント

第1部 公開シンポジウム
第2部 テーマセッション

入場無料

事前申込みください(裏面参照)

ゆるキャラも来るよ



アカポッポ



来場記念もあります
(裏面参照)

駆除したアカギの木工を体験しよう



裏面を
見て
ください

日時:平成28年6月26日(日) 10:00~17:30 (シンポジウム開場は13:00)

会場:東京都庁都議会議事堂1階(都民ホール・都政ギャラリー・議事堂レストラン)

シンポジウム 13:30~15:30
(会場:都民ホール)

世界自然遺産小笠原の価値と保全の努力

冒頭 映像による小笠原

ダイオウイカ、アホウドリ、マッコウクジラ、西之島の様子など、話題の小笠原の自然を美しい映像で紹介します

1 遺産価値の陸産貝類を守る努力

小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員 千葉 聡 氏
小笠原の遺産価値の根幹をなす陸産貝類の進化や現在の危機、保全の取り組みについて紹介します

2 希少種を守る地域協働の取り組み

公益社団法人東京都獣医師会理事 中川 清志 氏
小笠原の貴重な生態系を守るために、島民と獣医師会など関係者が取り組んだアカガシラカラスバトを保全するためのノネコ対策の取り組みの成果を紹介します

3 世界遺産地域における観光・利用

株式会社ナショナルランド(小笠原観光情報センター)
代表取締役 松崎 哲哉 氏
小笠原世界自然遺産の観光資源の価値や、利用の側面から見た生態系を守るための取り組みを紹介します

4 小笠原世界自然遺産地域が目指すべき目標像

小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員長 大河内 勇 氏
小笠原の遺産価値を未来に引き継ぐために必要なこと、また今後目指すべき目標像を提示します

テーマセッション 16:00~17:30
(会場:議事堂レストラン)

「日本の世界自然遺産地域の連携:関係町村ネットワークづくりに向けて」

我が国の4カ所の世界自然遺産地域(白神山地、屋久島、知床、小笠原諸島)の各地域の町村長をお招きして、各地域の世界遺産地域の特色や取り組みを発表いただきながら、テーマセッションを行います。4カ所の世界自然遺産地域の関係町村が中心となって、「世界自然遺産地域連携ネットワーク協議会(仮称)」の立ち上げの宣言が行われる予定です。

各種展示・木工教室 10:00~17:00
(会場:都政ギャラリー)

シンポジウムでの講演内容に関係する生態系保全の取組を詳しく紹介するポスター展示、各種観光情報をご覧いただけるほか、駆除したアカギ材を利用した木工教室にも参加できます。

会場には、知床世界自然遺産地域科学委員長長桜井泰憲氏のコメントを頂く他、小笠原を中心とした世界自然遺産に関わるの方々をお招きする予定です。

第1部(予定)

第2部(予定)

情報交流



World Natural Heritage Ogasawara Islands
世界自然遺産
小笠原諸島